

232鉄道車両を起因物とする死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2019	1	15 ～ 16	駅にて電車の入庫（車庫に入る電車）対応を行っていた。その際、車両の間にある、貫通扉（膝を踏ん張って開ける必要がある）を開閉しながら、乗客の降車を促す業務を1日に数10回行っていたところ、右膝に強い痛みを感じ、右膝半月板を損傷した。	28	19	170201	1000 ～ 9999
2	2019	2	20 ～ 21	駅構内東引き上げ2番線への入れ替え作業終了後、転動防止手配を行い、手乗継詰所に向かうため運転室から降車するため、両手で手すりを持ち、右足をステップ上段に、左足をステップ下段に置いた状態からバラスト部分に飛び降りた。着地した際に左足首をひねり負傷した。	36	19	40101	100 ～ 299
3	2019	2	7 ～ 8	電車便乗にて駅到着後、室内の窓が開いていることに気付き、室内に入り窓を閉め閉める際に、途中で引っ掛かり完全に下まで下がらなかったため、再度上げて勢いをつけて下げたところ、右手中指先端を窓と窓枠に挟み骨折した。	53	7	40101	100 ～ 299
4	2019	2	16 ～ 17	製品出荷場にて、製品の梱包バンド解体作業の際、フォークリフトと接触して頸部を負傷した。	49	6	10103	50～ 99
5	2019	4	9 ～ 10	運転席から降車の際、右足をひねり、右足甲を骨折した。	62	19	150109	100 ～ 299
6	2019	4	11 ～	車両内清掃が終わり、降車するため、車両のステップに足を掛けたとき、バランスを崩し手が滑り支えられなくなり、尻から地面	27	1	150109	100 ～

14	2019	6	11 ～ 12	駅で乗り換えする際、ホームに下りるときに左足をひねり、そのまま前方に倒れて転倒し、左第5趾中足骨を折った。	46	2	170209	1～9
15	2019	6	22 ～ 23	旅客係は中間運転台の山側で、発車後の車内放送を実施するために、放送時期まで待機していた。その際、体調不良を感じ山側ヒンジ扉付近に寄り掛かったところ、ヒンジ扉が開いており、列車から川面に転落し、発熱、感染症の疑い、右膝他に打撲を負った。	18	1	170209	50～ 99
16	2019	6	14 ～ 15	営業担当見習いとして勤務中、列車の積付検査を行うため貨車を横断し、貨車ステップを上り降車をする際、歩行路に右足を着地した際バランスを崩し転倒し右足をひねり、右足関節靭帯損傷、右腓骨筋腱脱臼を負った。	32	18	40101	50～ 99
17	2019	6	22 ～ 23	車両清掃作にて、荷物棚の上に置いてあった使用済みの毛布を取るため、両手で荷卸棚の縁を持って座席に乗った後、左手で体を支えながら右手で毛布を取ろうとして右足を座面全部の曲面部分に乗せたところ、足を滑らせ転倒し、右肩を骨折した。	60	1	150109	300 ～ 499
18	2019	6	19 ～ 20	駅にて、乗務中、ホーム降車し乗降確認中、右足がホームと車両の隙間に落ち、転倒し、右肘、右足の付け根をホームに強打し負傷した。	39	1	40101	100 ～ 299
19	2019	7	21 ～ 22	敷地内にて、入換作業中、コキ車から降車する際、左手で手摺を握りバランスを崩し転倒した。その際、右手をエキスパンダー上に強打し、右手首を骨折した。	45	3	50101	50～ 99
20	2019	8	8 ～ 9	駅到着後、折り返すために引き込み線に入り、停止位置で停車するところ、意識を失い停止位置を大幅に超え前方壁面に衝突した。その際、両膝蓋部に打撲、擦過傷を負った。	42	3	40101	100 ～ 299
21	2019	8	11 ～	鉄道車両の輪軸研磨作業が終了し、輪軸搬送装置に搬送させるため確認した。そのとき、No.1の輪軸が斜めになっていたため、レール面にある爪部をマイナスドライバーで下げた。その際、リミッ	66	7	11503	100 ～

			12	トスイッチが働き、待機していたNo.2の輪軸が転がり、タイヤとタイヤの間に左足ふくらはぎが挟まれ負傷した。				299
22	2019	8	4 ～ 5	新幹線区間にて、道床交換のため作業後、低床トロより地上に降りる際、左足首をひねり捻挫した。	40	3	30104	50～ 99
23	2019	9	1 ～ 2	回送電車を車両センターに留置し、運転席より降車した。その際、乗務員室を背にしてドアを閉めたため、左手薬指をドアに挟み負傷した。	37	7	40101	300 ～ 499
24	2019	10	15 ～ 16	列車の運行が終わり、列車から横歩きの状態でホームに降りようとしたとき、乗務員扉に右手が引っ掛かった。その際に乗務員扉が閉まり、右手中指をドアに挟み負傷した。	34	7	40101	100 ～ 299
25	2019	12	12 ～ 13	勤務終了後、翌日分の弁当の材料が不足していたため、自車で問屋に向かった。商品を受け取った後、店に戻る途中、踏切で列車の通過待ちをしていたところ、ブレーキの踏み込みが甘くなり、自車が線路内に進入して電車と接触した。その際、肋骨を折って肺に穴があき、右足を打撲した。	72	17	80209	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。